cado

取扱説明書

HM-C300H

Humidifier

STEM

300H

重要

このたびは、カドー加湿器「STEM 300H」を
お求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書をお読みください。
本書はお読みになったあとも大切に保管してください。

cado

目次

安全上のご注意.....3
警告.....4
注意.....5
各部の名前.....9
本体.....9
本体上部(内面).....10
本体底面.....10
本体の組み立て.....11
タンクに水を入れる.....14
設置について.....15
使いかた.....16
操作パネル.....16
運転を開始する.....16
運転モードを変える.....17
マニュアルモード.....18
タイマー運転.....18
照度調整機能.....18
イルミネーション機能.....19
湿度の状態.....19
給水のめやす.....19
加熱運転について.....20
Purio について.....21
香りを楽しむ.....22
お手入れのしかた.....23
フロートの着脱方法.....32
内部乾燥機能.....34
フィルターカートリッジの交換方法.....35
フィルターカートリッジについて.....36
長期間使用しない場合.....36
安全機能について.....37
タンク検出.....37
異常水位検出.....37
本体動作異常検出.....37
加熱運転異常検出.....37
故障かな？.....38
仕様.....42
保証書.....44
保証内容.....45

安全上のご注意

ここでは事故を防ぐための重要な注意事項について記載してあります。

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を未然に防止するため、本書に記載されている内容は必ずお守りください。
誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を区分した上で記載しています。

表示の説明



警告

「死亡または重傷を負うおそれがあること」を示します。



注意

「傷害を負う、または財産に損害を与えるおそれがあること」を示します。

図記号の説明



禁止

「してはいけない禁止事項」を示します。



指示

「必ずしなければならない強制事項」を示します。

⚠ 警告

禁止

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。

■ 電源コードを破損させない。

ショートや断線して火災や感電の原因になります。

- 加工したり、傷つけたりしない。
- 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コード部分を持って引き抜かない。
- 持ち運び時に電源コードを引っ張らない。

■ 定格電圧以外で使わない。

火災や感電の原因になります。

■ 延長コードの使用やたこ足配線、配線器具の定格を超える使い方をしない。

感電や発熱による火災の原因になります。

■ 分解、改造、修理しない。

火災や感電、ケガの原因になります。
修理はお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

■ 本体を水につけたり、丸洗いしない。

本体内部の基板などに水が入ると、ショートによる火災や、感電の原因になります。

■ 吹出口、水槽部、本体のすき間などに指や金属物などの異物を入れない。

発火・感電・やけど・ショート・ケガの原因になります。

■ お手入れに塩素系、アルカリ性の洗剤を使わない。

洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害するおそれがあります。また、本体の破損や変形、割れによる水漏れの原因になります。

■ 雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグには触れない。

感電のおそれがあります。

⚠ 警告

❗ 指示

■ **電源プラグは、根元までしっかり差し込む。**
電源コードや電源プラグが傷んだ状態で使用したり、差し込みがゆるいコンセントを使用すると、接続が不完全となり、火災や故障の原因になります。

■ **電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布でふき取る。**
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

■ **使用しないとき、お手入れ、点検、移動の際は必ず運転を停止し、電源プラグをはずす。**
不意に動作した場合、感電やケガの原因になります。

■ **異臭や、機器の異常を感じたときは、ただちに使用を中止する。**
電源プラグをはずし、サポートセンターまでご相談ください。

■ **お年寄り、お子様、体の不自由な方、意思疎通が困難な方には、保護者や安全責任者から適切な指導監督を受けない限り、単独で使用させない。**

■ **お子様が玩具として遊ばないよう注意する。**
思わぬケガや誤飲、感電または故障の原因になります。

⚠ 注意

🚫 禁止

■ **不安定な場所には置かない。**
転倒すると水漏れや、やけど、故障の原因になります。

■ **本体の上に物を置いたり、乗ったりしない。**
転倒により、水漏れ・やけど・破損・故障の原因になります。

■ **本体を傾けたり、さかさまにしない。**
水漏れや、タンク蓋やタンクなどが落下し、やけどやケガの原因になります。

■ **タンクの取り付け・取りはずしをむやみに繰り返さない。**
振動などで水があふれ、やけどなどの原因になります。

⚠注意

禁止

■ **熱に弱い床面や敷物の上で使用しない。**
加熱した水がこぼれた場合、損害がでるおそれがあります。

■ **タンクやダクト、リフレクタ、ノズル(吹出口)をはずしたまま使用しない。**
水が噴き出し、周囲が濡れて損害がでるおそれがあります。

■ **凍結に注意する。**
凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨ててください。

■ **タンクの水は毎日新しい水道水に入れ替える。タンクに水道水以外の水は入れない。**
飲料用の水道水は塩素成分により雑菌が繁殖しにくいですが、時間経過とともに効果が低減します。また、水道水以外を使用すると、雑菌繁殖の原因になったり、化学変化によりタンクや水槽部の割れ(水漏れ)の原因になります。
入れてはいけない水:
精製水、蒸留水、浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水、40℃以上の温水、化学薬品、芳香剤、洗剤、アロマオイル

■ **直射日光の当たる場所やエアコン、暖房器具の風の当たる場所には置かない。**
本体の故障や変形・変色の原因になります。

■ **フィルターカートリッジを交換しないまま、長期間使用しない。**
フィルターカートリッジの効果がなくなると白い粉が発生し、周囲に付着することがあります。ご使用環境により約3〜6ヶ月を目安に交換してください。

■ **長期間放置したフィルターカートリッジを使用しない。**
内部の着色成分が抜け出して茶色い水が水槽部にたまる場合があります。透明な水になるまで、水槽部の水を繰り返し捨てるか、新しいフィルターカートリッジへ交換してください。

⚠注意

禁止

■ **電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多い場所では使用しない。**
磁気の影響で正常に動作しないことがあります。

■ **電磁波の影響を受ける機器の近くで使用しない。**
他の電子機器へ誤動作などの影響を与えたり、または本機が誤動作する原因になります。
ラジオやマイクロホンなど搭載した機器の近くで使用する場合、雑音が発生することがあります。距離を離してご使用ください。また、別のコンセントに電源プラグを接続することで改善する場合があります。

■ **長時間、床面や家具などの上に直接置かない。**
長時間同じ場所に置くと、本体底面のゴム足の跡が設置面に残ることがあります。設置場所を定期的に変更するか、または市販の家具用傷防止シートなどを使用してください。

⚠注意

❗指示

■ 加熱運転中および、加熱運転完了後は水槽部が熱くなるため、十分に注意する。

加熱運転中および、加熱運転完了後は水槽部(特にヒーター周辺)が熱くなります。
タンクの取りはずしや排水、本体のお手入れは、水槽内やヒーター、加熱した水や蒸気などでやけどをしないよう十分に注意してください。

■ ダクト、リフレクタ、ノズルを必ず取り付けて運転する。

床濡れや本体内部へ水が入ることによる水漏れや故障、加湿量低下の原因になります。

■ ファン吹出口に水が入らないように注意する。

本体内部の基板などに水が入ると、ショートや故障の原因になります。

■ 本体のお手入れは定期的に行う。

本機の加熱機能はカビや雑菌の発生・抑制を保証するものではありません。したがって、お手入れを行わずに使用し続けると、カビや雑菌が繁殖したり、汚れや水アカが付着することで加湿量の低下や、故障の原因になることがあります。
また、まれにアレルギー体質などの方が過敏に反応し、健康を害するおそれがあるため、手順にしたがい、定期的にお手入れをしてください。

■ 壁や水気を嫌うものから離して使用する。

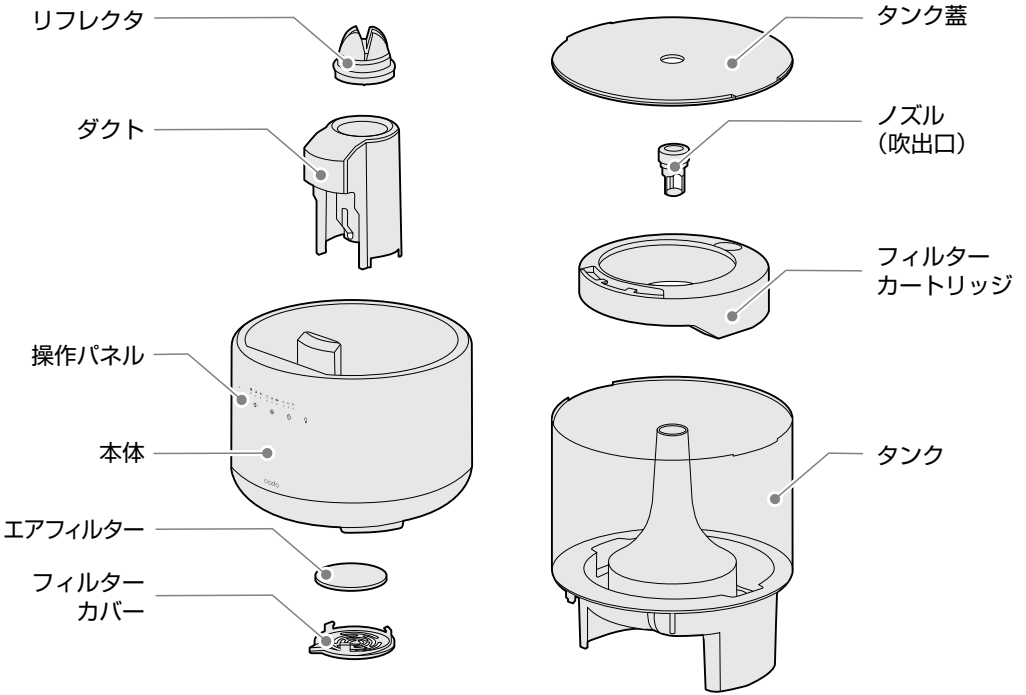
霧がかかるとカビやシミ、変色の原因になります。また、電子機器等が故障するおそれがあります。

■ 本体から水が漏れてきた場合はただちに電源プラグをはずし、タンクおよび水槽部の水を捨てる。

本製品は万が一本体内部に水が入った場合、本体底部の水抜き穴から外部に排水されるよう設計されています。
誤ってファン吹出口から水が入るなどの理由で、本体底部から水が漏れてきた場合は、十分に乾燥させた上で、再度正しい手順でご使用ください。
家財などの損害が予測される場所でご使用になる場合はトレーやシートなどを敷いてお使いください。

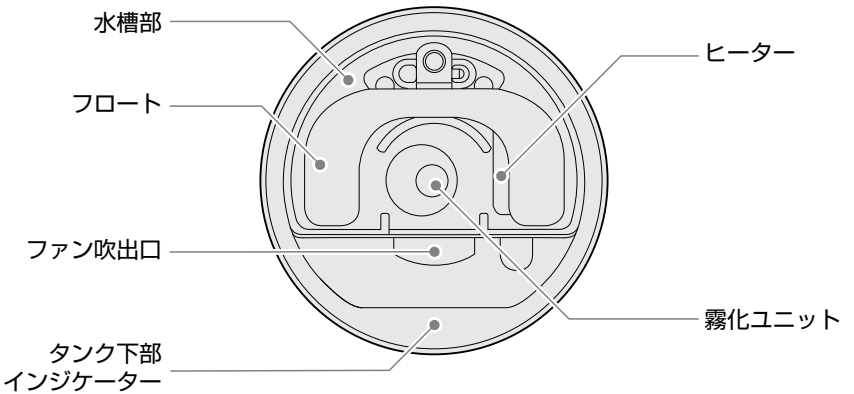
各部の名前

本体

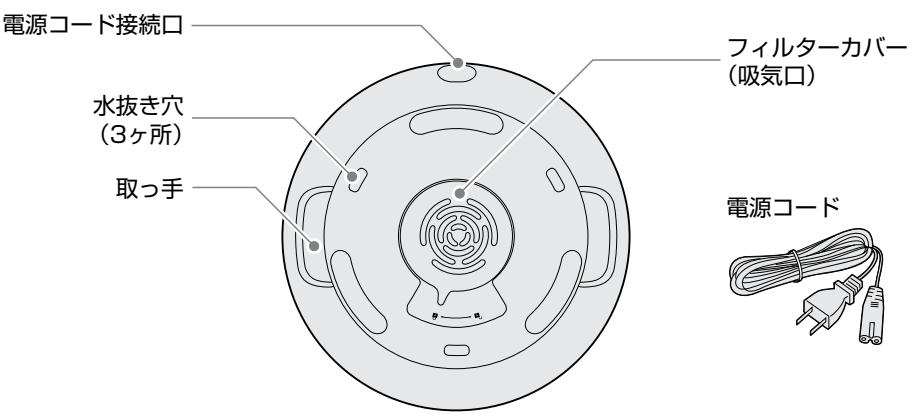


フィルターカートリッジは水槽部への給水を制御する大切な部品です。
必ず取り付けてご使用ください。

本体上部(内面)

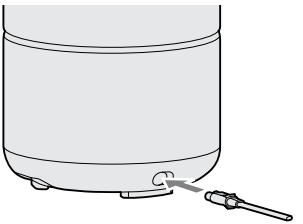

水槽部
フロート
ファン吹出口
タンク下部
インジケーター
ヒーター
霧化ユニット

本体底面


電源コード接続口
水抜き穴
(3ヶ所)
取っ手
フィルターカバー
(吸気口)
電源コード

本体の組み立て

1. 電源コードを電源コード接続口に差し込み、電源コードを固定します。



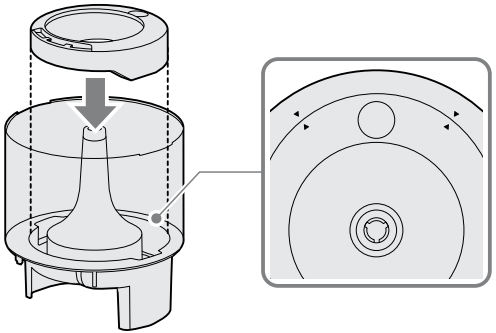
誤動作の原因になりますので、電源コードは奥までしっかりと差し込んでください。

2. ダクトとリフレクタを水槽部に取り付けます。
（リフレクタがはずれた場合は、リフレクタをダクトの突起部に合わせて取り付けてください）



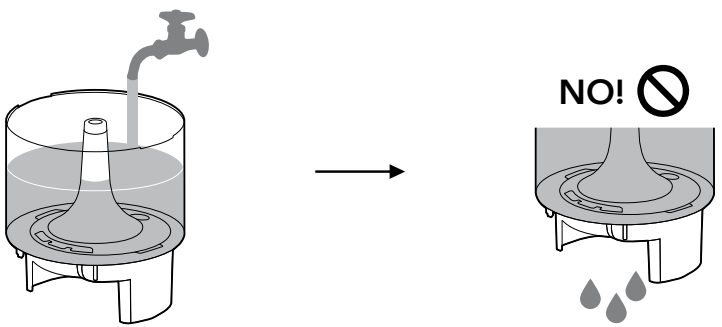
加湿量の低下や、床濡れ、水漏れの原因になりますので、ダクト・リフレクタは必ず取り付けてください。

3. フィルターカートリッジの▲印をタンクの▲印にあわせて取り付けてください。

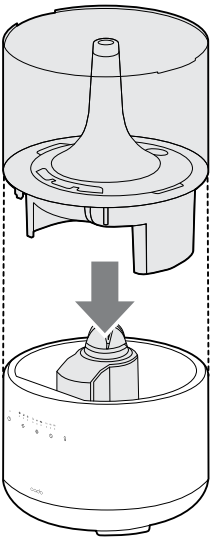


フィルターカートリッジは浮きがないよう、タンクの奥までしっかり取り付けてください。

4. タンクに水を入れた後、しばらく時間を置き、タンクの底部から水漏れがないことを確認します。

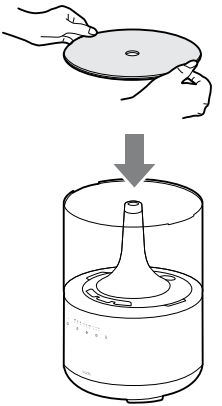


5. ダクト･リフレクタが正しく取り付けられていることを確認した上で､タンクを本体の奥までゆっくり差し込みます。

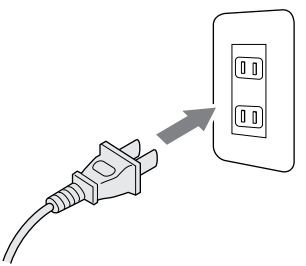


タンクが奥まで差し込まれていないと水槽部への給水不良や水漏れの原因になります。

6. タンクにタンク蓋を取り付けます。



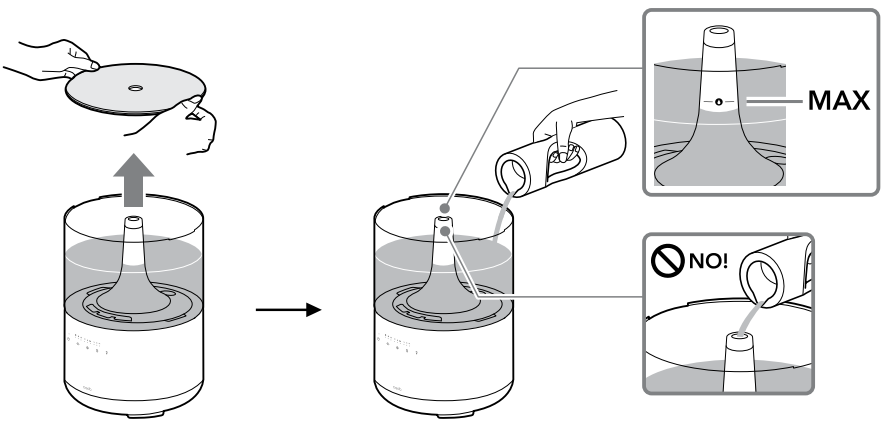
7. 電源プラグをコンセントに差し込みます。電源が正常に接続されると､操作パネル､タンク下部インジケーターのすべてが約２秒間点灯します。



タンクに水を入れる

- 水道水以外は使用できません。精製水、蒸留水、浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水、40℃以上の温水は雑菌繁殖の原因になります。また、精製水や蒸留水を使用すると水位検出が正常にできず、水漏れや故障の原因になります。
- 雑菌繁殖抑制のためタンクの水は、毎日新しい水道水にすべて入れ替えてください。

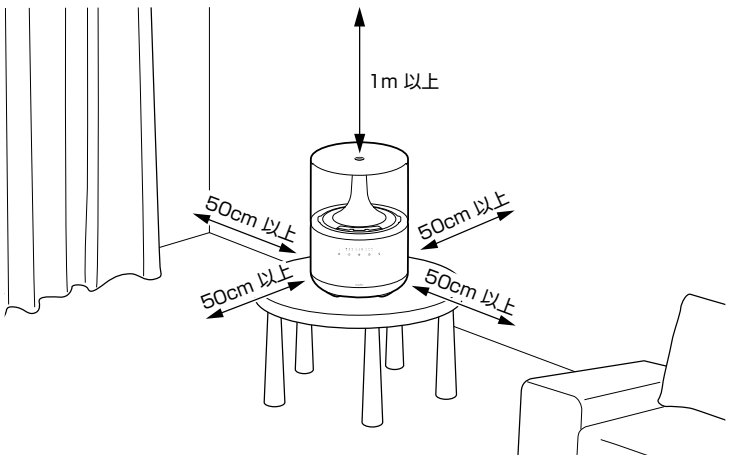
タンク蓋の両側を持って蓋をはずしたあと、やかん等でタンクに水道水を入れます。
タンクの裏側にある満水マークを超えないよう注意してください。



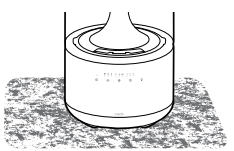
吹出口に直接水を注がないでください。水槽部から水が溢れ、水漏れや故障の原因になります。

設置について

- 本機の性能を十分に発揮するために壁や周囲から適切な距離をあけて設置してください。特に吹出口の上部は1m以上あけてください。
- 誤動作の原因になりますので、本体を移動する場合は運転を停止し電源プラグをコンセントからはずしてください。
- 加熱運転中および、加熱運転完了後は水槽部(特にヒーター周辺)が熱くなりますので、水槽部が十分に冷めていることを確認してから取っ手を持って移動してください。

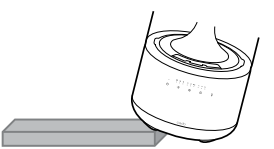


NO!



毛足の長いじゅうたんの上で使用しないでください。本機が傾いたり、吸気口がふさがり故障の原因になります。

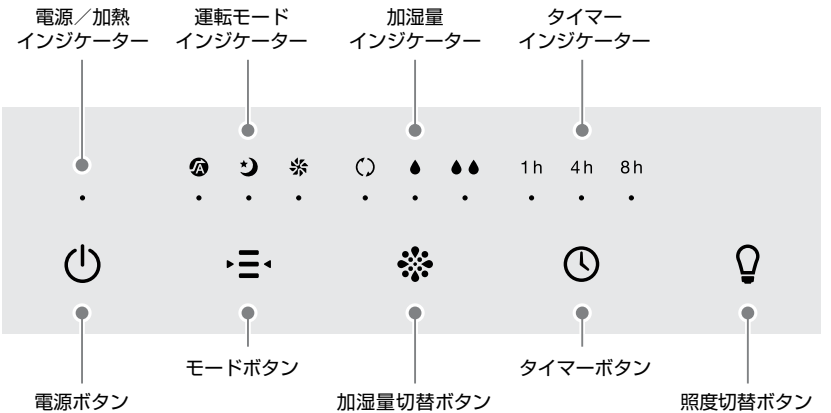
NO!



傾斜のある場所や不安定な場所、高い場所で使用しないでください。落下や転倒による水漏れや、誤動作の危険性があります。

使いかた

操作パネル



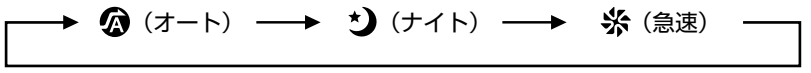
運転を開始する

電源ボタン ⏻ を押します。
本体の水槽部が適切な水位になると、オートモードで運転を開始します。
運転中に電源ボタンを押すとインジケーターが消灯し運転が停止します。

- 初めてご使用になる場合や水を補給した直後など、本体の水槽部に水がない状態から運転する場合は、適切な水位になってから運転を開始します。タンクの水量が少ない場合、10分程度かかる場合があります。
- タンクを取り付けないまま運転を開始すると、警告音が5回鳴り、全てのインジケーターが点滅します。

運転モードを変える

運転中にモードボタン ･≡･ を押します。
運転モード(インジケーター)は下記の順に切り替わります。



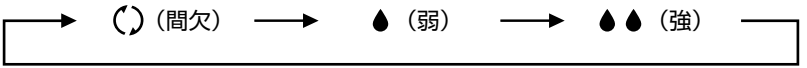
運転モードについて

オート	通常はこのモードで使用します。お部屋の状態をセンサーで検知し、自動で加湿量を調節します。
ナイト	就寝中などにタンク下部インジケーターが消灯し、加湿量控えめで静かに運転します。 また、適度な湿度(約60%以上)になると加湿運転を一時停止し、約50%以下の湿度になると加湿運転を再開します。
急速	素早く加湿したいときに使用します。30分後にオートモードに切り替わります。

- 運転モードとマニュアルモードを同時に設定することはできません。
- ナイトモードで運転中はお部屋の湿度によって加湿運転が一時停止します。連続して加湿したい場合は、オートモード、急速モード、またはマニュアルモードをご使用ください。
- 急速モードでは加湿量を増やすため、ヒーターが動作して水槽内の水温が約40℃になります。

マニュアルモード

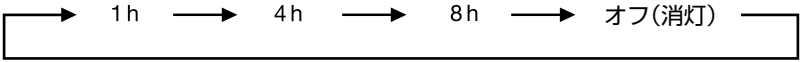
運転中に加湿量切替ボタン ❋ を押します。
お部屋の湿度に関係なく、お好みに合わせて加湿量を設定できます。
加湿量(インジケーター)は下記の順に変化します。



マニュアルモードと運転モードを同時に設定することはできません。

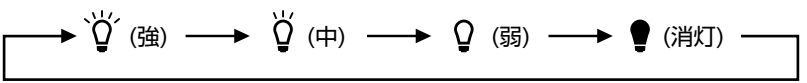
タイマー運転

運転中にタイマーボタン ⏲ を押します。
指定した時刻が経過すると自動で運転を停止します。
タイマー時間(インジケーター)は下記の順に変化します。



照度調整機能

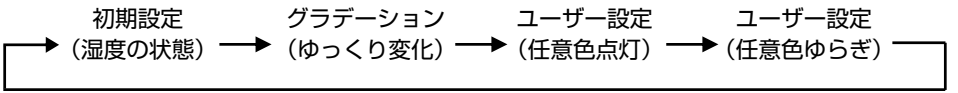
照度切替ボタン 💡 を押すと、タンク下部インジケーター、操作パネルインジケーターの明るさが切り替わります。



- 明るさを設定すると運転を停止しても最後に記憶した状態を保持しておくことができます。
- 操作パネルインジケーターを完全に消灯することはできません。
- イルミネーション機能⇒ p.19 でグラデーション、またはユーザー設定(任意色ゆらぎ)動作中は、照度切替ボタンを押しても、明るさを切り替えることはできません。

イルミネーション機能

タンク下部インジケーターをお好みの色に合わせて設定できます。
運転中にモードボタン ･ﾆ･ を押したまま、照度切替ボタン を短く押して離すことでタンク下部インジケーターは下記の順に切り替わります。



- グラデーション（色がゆっくり変化）している状態から、お好みの色で切り替え操作をすると、その点灯色を保持することができます（ユーザー設定）。また、もう一度操作を繰り返すことで、お好みの色を保持したまま、ゆらぎ（光の強弱）動作に切り替わります。
- 設定を切り替えると、運転を停止しても最後に設定した状態を保持しておくことができます。初期設定に戻したい場合は、上記の操作を繰り返してください。

湿度の状態

お部屋の湿度に合わせて、タンク下部インジケーターの色が変化します。
ご使用の環境・設置場所によっては実際の湿度とずれる場合があります。

インジケーター色	現在の湿度
青	約50%以上
緑	約30～50%
黄	約30%以下
赤	湿度に関係なく給水をお知らせ

給水のめやす

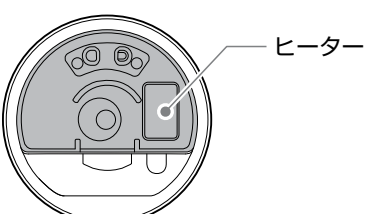
運転中にタンク内の水が少なくなると、警告音に合わせてタンク下部インジケーターが赤色に点滅してお知らせします。「タンクに水を入れる」 ⇒p.14 にしたがって給水してください。

加熱運転について

- 水槽内を清潔に保つため、電源コードを接続し約30分が経過すると、自動で加熱運転を行います。
- 加熱運転中は電源／加熱インジケーターがオレンジ色に点灯し、水槽部のヒーターにより水槽内の水温が約75℃まで上昇します。
- 運転停止（電源オフ）中でも加熱運転を行います。また、水槽部、タンクに水がない場合は加熱運転を行いません。
- 加熱運転は1時間程度行います。水槽内の水の量や水温、気温によって、加熱完了までの時間が変化します。
- 1回の加熱運転が完了すると、約12時間ごとに加熱運転を繰り返します。
- オートモード（加湿量：強）やマニュアルモード（強）で運転中に加熱運転を行う場合は、水槽内の温度を上昇させるため、加湿量を減らして運転を継続します。加熱運転が完了すると、もとの加湿量に戻ります。

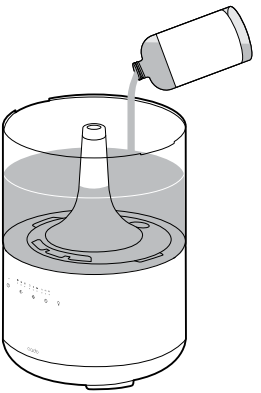
- 加熱運転中および、加熱運転完了後は水槽部（特にヒーター周辺）が熱くなります。タンクの取りはずしやお手入れ、移動の際は、水槽内やヒーター、加熱した水や蒸気などでやけどをしないよう十分に注意してください。
- 加熱運転中は、吹出口からのミストが温かくなりますが、故障ではありません。
- 給水のお知らせ（タンク下部インジケーター：赤色点滅）の状態では、水槽内の水の量が少ないため加熱動作を行いません。「タンクに水を入れる」⇒p.14 にしたがって給水し、電源ボタンを押して加湿運転が始まると、加熱運転を再開します。





Purio について

本機でPurio（高機能電解酸性イオン水）もご使用いただけます。お好みに合わせて、Purioを水道水で薄めてご使用ください。1倍（原液）から約5倍までの希釈をおすすめします。
液剤の使用上の注意に関しては、液剤ボトルやパッケージなどに記載されている注意事項をご確認ください。

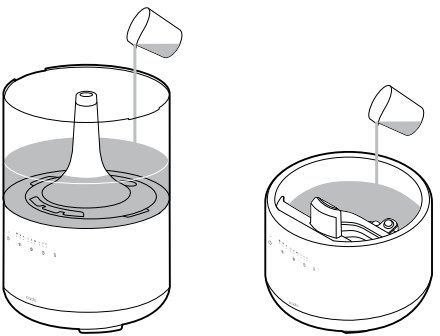


香りを楽しむ

専用液剤(フォレストウォーター、シトラスウォーター)を噴霧させることで香りをお楽しみいただけます。対応する液剤の最新状況については、当社ホームページをご確認ください。

推奨希釈濃度は約10倍となります。タンク内に専用液剤を入れる場合は、水道水約1.3L(タンクの1/3程度)に対し、専用液剤140mLを目安に注いでください。

タンクを取りはずし、水槽部に専用液剤を直接入れることも可能です。30mLを目安に水槽部へ注いでください。
水槽部に直接入れる場合は、加湿を継続することでタンク内の水が給水され、徐々に香りが弱くなります。お好みに応じ、少しずつ専用液剤を増加してください。
(マニュアル間欠モード運転時、約2時間で10mL増加を推奨)





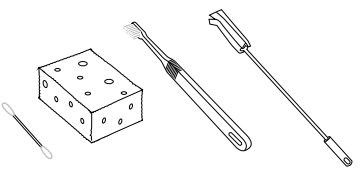
アロマオイルは絶対に使用しないでください。タンクや水槽部の変形、割れ(水漏れ)の原因になります。

- 水槽部に専用液剤を直接入れる場合は、一度に50mL以上入れないでください。異常水位検出(安全機能について⇒p.37)による安全機能が働き異常停止する可能性があります。
- 香りをお楽しみいただいた後はタンク内および水槽部に残った水を捨てて、十分にすすいでください。
- 液剤の使用上の注意に関しては、液剤ボトルやパッケージなどに記載されている注意事項をご確認ください。

お手入れのしかた

- お手入れをせずに使用を続けると、使用する環境によっては水アカなどの汚れが付着して取れにくくなったり、カビや雑菌が繁殖する原因になります。汚れやぬめりなどが付着している場合は、お手入れを行ってください。
- 定期的なお手入れが行われない場合、汚れなどによる故障発生時に、メーカー保証対象外になることがあります。

市販の綿棒やスポンジ、やわらかいブラシ、ダクト内部清掃用に柄の長いブラシを用意すると便利です。

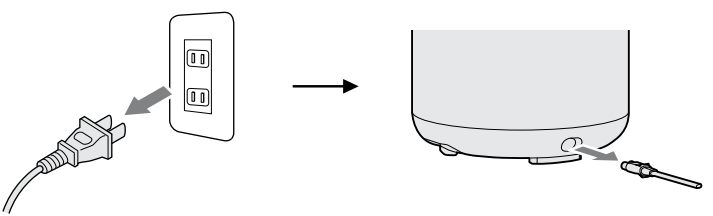


硬いブラシを使用すると霧化ユニットが傷つき、故障の原因になります。

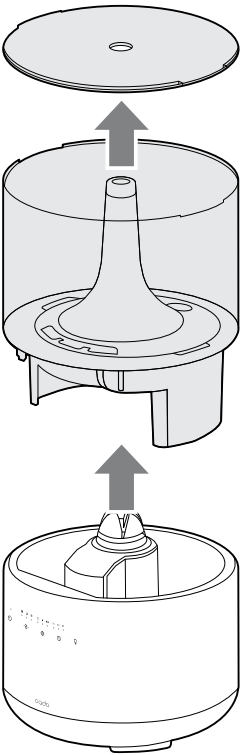
しつこい汚れには中性洗剤を溶かした洗浄液を使用してください。

- 中性以外の洗剤は使用しないでください。本体を傷つける可能性があります。
- すすぎが不十分だとニオイや故障の原因になるため、洗浄後は水道水で洗浄液を十分に洗い流してください。

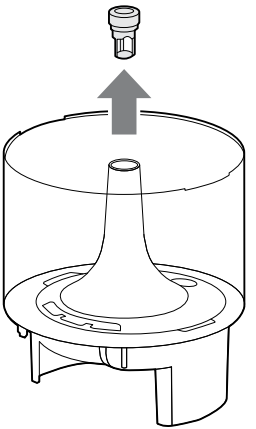
1. 本体の運転を停止し、電源プラグをコンセントからはずします。



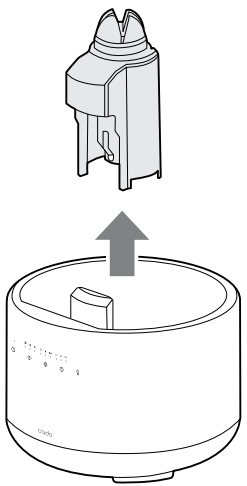
2. タンク蓋とタンクを本体から取りはずします。



3. タンクからノズルを取りはずします。



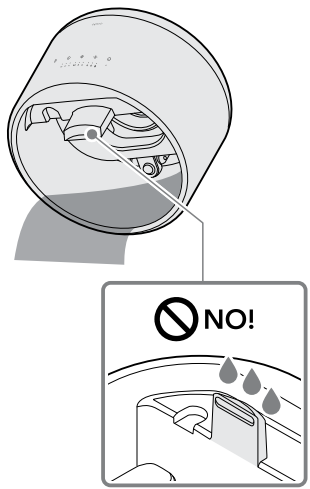
4. ダクト、リフレクタを本体から取りはずします。



5. 操作面を上にして水槽部に残った水を捨ててください。

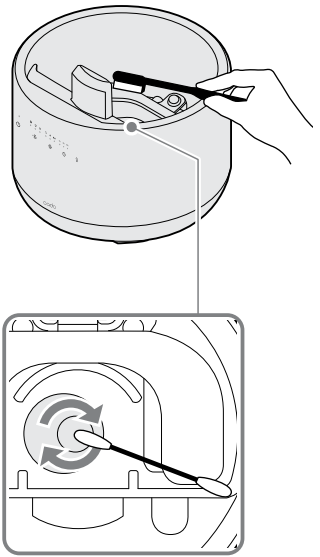
⚠注意

加熱運転中および、加熱運転完了後は水槽部(特にヒーター周辺)が熱くなります。タンクの取りはずしや排水、本体のお手入れは、水槽内やヒーター、加熱した水や蒸気などでやけどをしないよう本体が冷めてから行ってください。



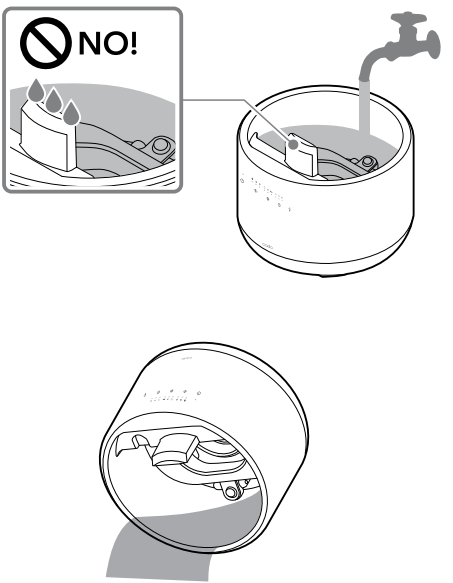
- 水槽の排水方向は必ず守ってください。
- ファン吹出口に水が入らないようご注意ください。

6. やわらかいブラシやスポンジで水槽部を水洗いします。



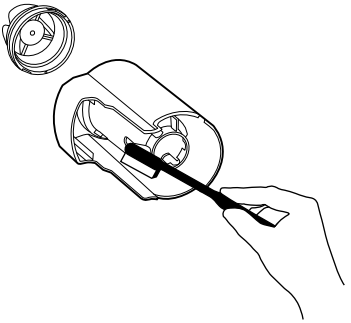
霧化ユニットは精密部ですので綿棒でやさしく表面の汚れを落としてください。

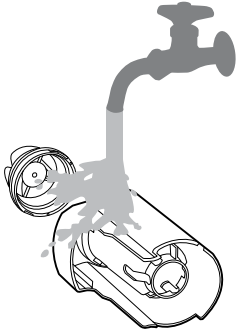
7. 水槽部を水道水でよくすすいだあと水を捨てます。
一度できれいにならない場合は、何回か繰り返して汚れを取り除いてください。



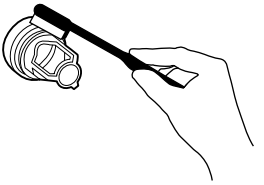
- 水槽の排水方向は必ず守ってください。
- ファン吹出口に水が入らないようご注意ください。

8. ダクトやリフレクタをやわらかいブラシなどで水洗いします。



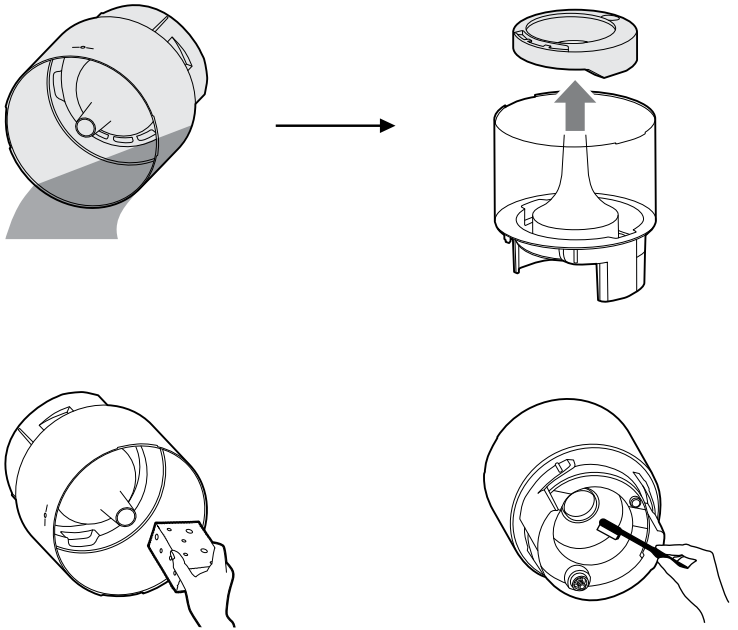


9. ノズルを分解してやわらかいブラシなどで水洗いします。



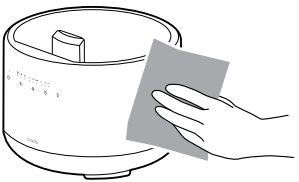


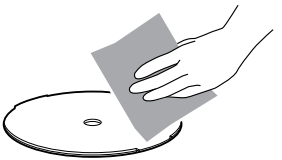
10. 残ったタンクの水を捨てて、フィルターカートリッジをタンクから取りはずし、スポンジなどで
タンク内とタンクの裏側を水洗いします。

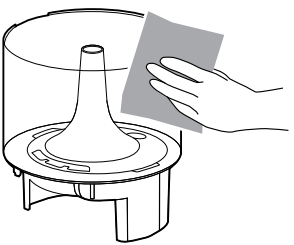


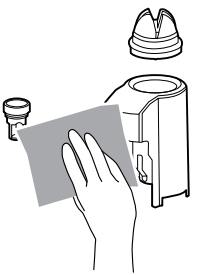
タンクは傷つきやすいので、やわらかいスポンジやブラシをご使用ください。

11. 本体、タンク、タンク蓋、ダクト、リフレクタ、ノズルの汚れや水気を、乾いた布ですべてふき取ります。

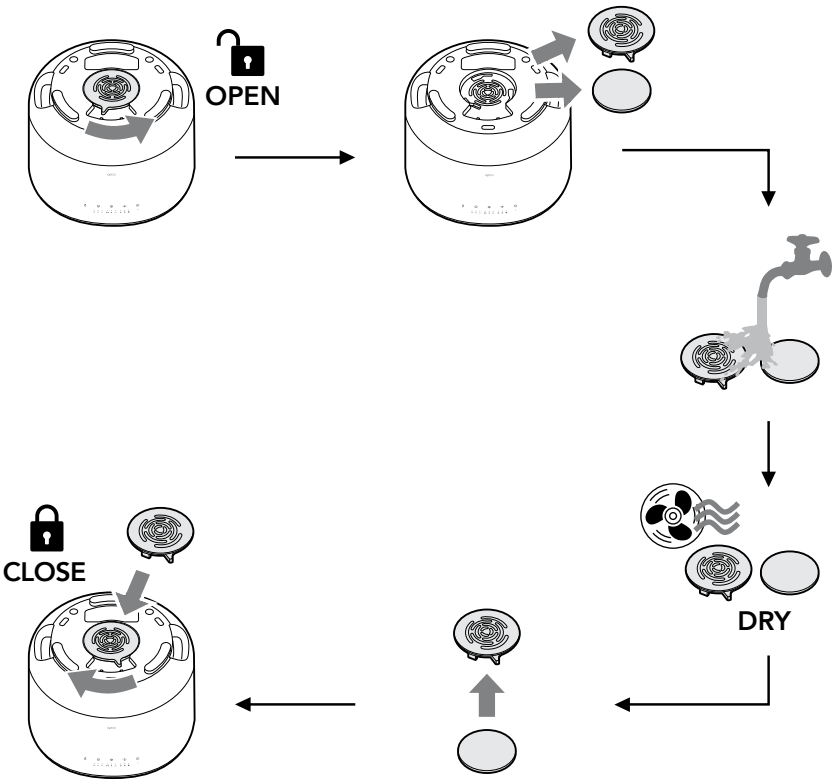






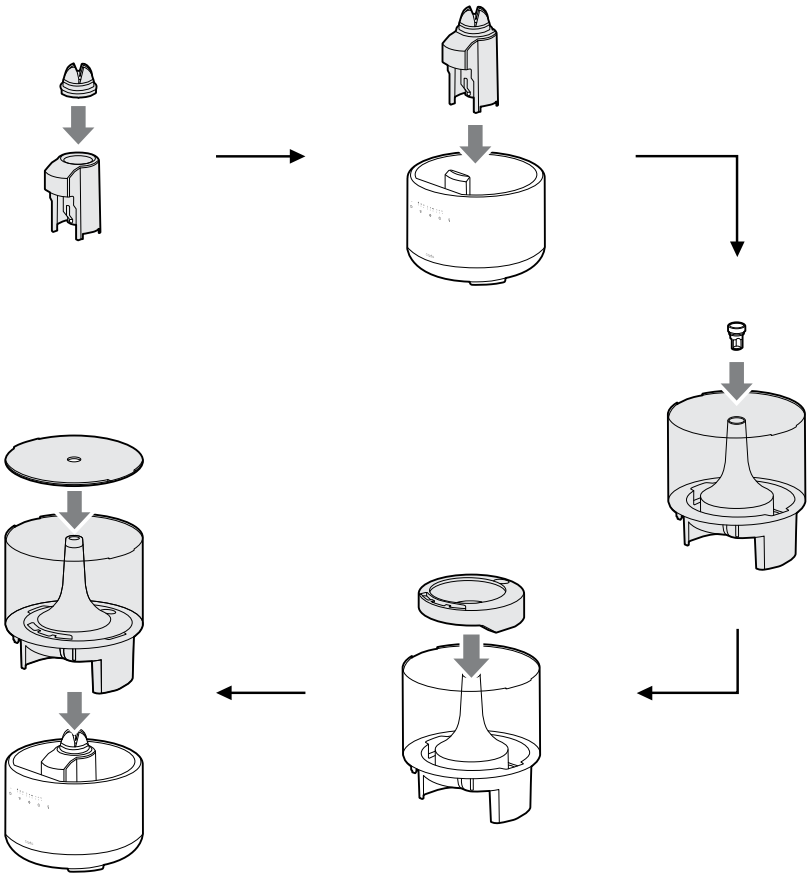


12. 本体底部のフィルターカバーとエアフィルターを取り出し水洗いします。
洗ったあとは水を切り十分に乾燥させて、再度取り付けます。



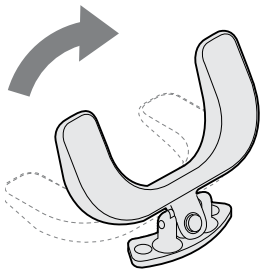
13. 本体を再度組み立てます。

組み立ての手順は「本体の組み立て」 ⇒p.11 をご参照ください。

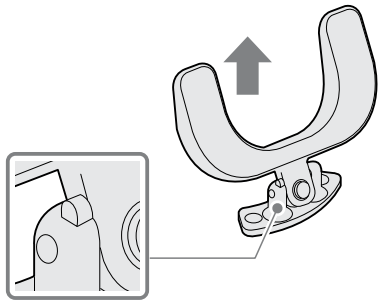


フロートの着脱方法

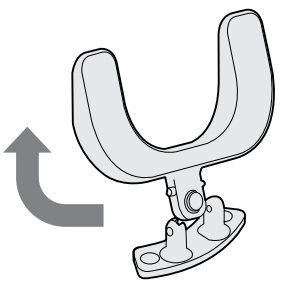
1. フロートを止まる位置まで起こします。



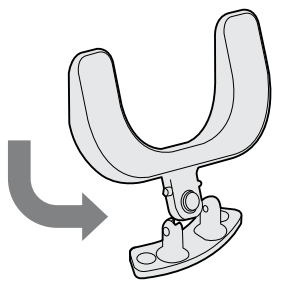
2. フロートが止まった位置から、フロートの軸が見える方を持ち上げ、片方の軸を軸受けからはずします。



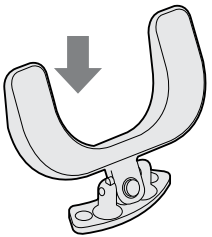
3. もう片方の軸を軸受けから引き抜き、フロートを取り出します。



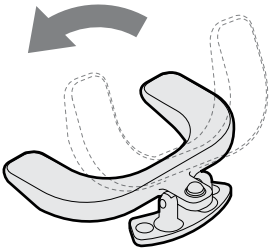
4. 取り付けの際は、フロートの先端を上向きにして片方の軸を軸受けの穴に差し込みます。



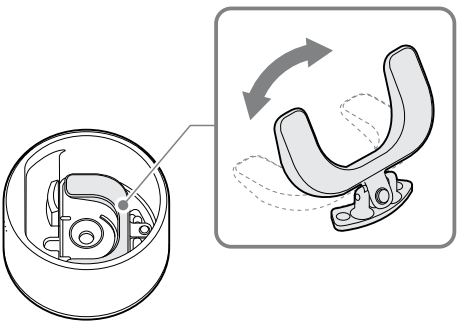
5. フロートを上向きのままもう片方の軸を軸受けに上から差し込みます。



6. フロートを元の位置まで倒します。



7. フロートを手で動かしてスムーズに動くことを確認してください。

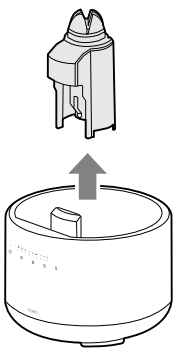


フロートが軸受け部に正しく差し込まれていない状態で、タンクをセットすると水漏れが発生する可能性があります。
またフロートを取り付け忘れた場合は、タンクから水槽部へ給水できなくなります。お手入れのあとは必ずフロートを取り付けてください。

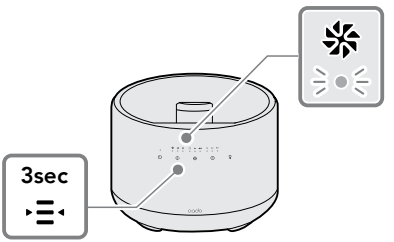
内部乾燥機能

長時間ご使用にならない場合や、ファン吹出口から水が入ってしまった場合などに、本体に内蔵されているファンを送風運転させて、本体内部をより早く乾燥させることができます。

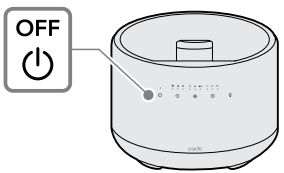
1. 本体の運転を停止し、ダクトをはずします。



2. 運転停止(電源オフ)を確認の上、モードボタン ･☰･ を3秒以上長押しすると急速インジケーターが点滅し、内部乾燥機能が開始します。



3. 電源ボタンを押すと、インジケーターが消灯し、内部乾燥機能が終了します。

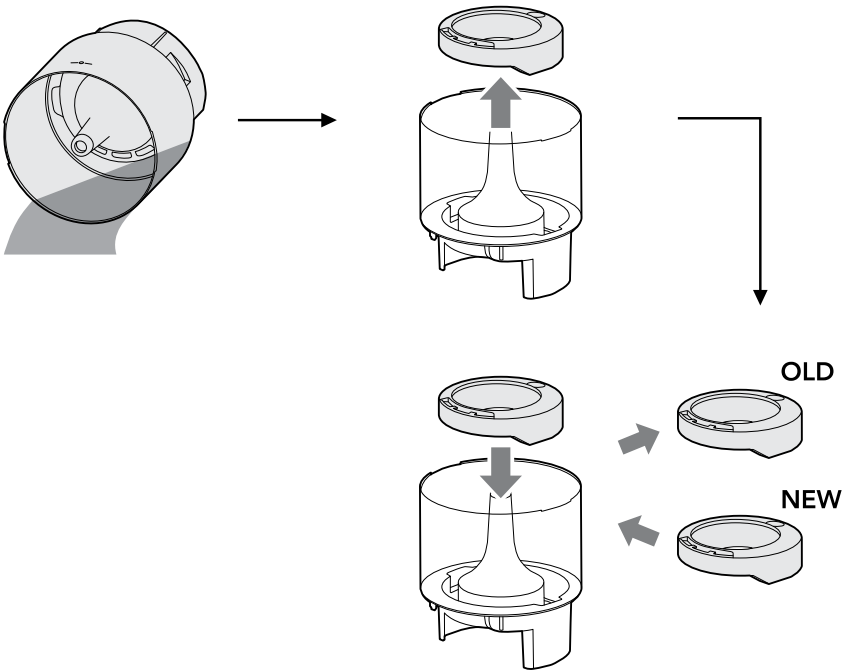


- タンクをつけたままの状態では、内部乾燥機能を開始することができません。
- 大量に水が入ってしまった場合は、電源プラグをはずし、お買い上げの販売店またはサポートセンターへお問い合わせください。

フィルターカートリッジの交換方法

1. タンクに残っている水を捨て、フィルターカートリッジをはずします。

2. 新しいフィルターカートリッジを取り付けます。
   取り付けの手順は「本体の組み立て」⇒p.11 をご参照ください。



フィルターカートリッジが正しくセットされていない場合、水漏れの原因になります。

フィルターカートリッジについて

- タンクに装着するフィルターカートリッジは、水道水に含まれるミネラル成分を除去し水の硬度を下げる機能があります。
- フィルターカートリッジは消耗品です。一般的な水道水で1日タンク1杯使用した場合は約3ヶ月、またマニュアル強モードで1日8時間運転した場合は約6ヶ月が交換の目安となります。
  ご使用になる水道水の硬度によっては、寿命がより短くなることがあります。
- フィルターカートリッジ交換直後は霧の量が少なくなることがありますが異常ではありません。時間をおくことで正常に戻ります。
- ご使用になる季節や環境、加湿量によっては、ミネラル成分により白い粉が発生し、お部屋の床や壁面、家電製品、家具などに付着する場合があります。
  加湿量を減らすことで改善することがありますのでお試しください。
- 長時間保管したあと、再度ご使用になる場合、内部の着色成分が抜け出して茶色い水が水槽部にたまる場合があります。フィルターカートリッジ内に水を流し続けると徐々に透明な水になりますので、透明な水になるまで繰り返し水槽部の水を捨てた上でご使用を開始してください。
  また、フィルターカートリッジから水槽部に水が供給されない場合は、内部の成分が固まっている可能性がありますので、フィルターカートリッジを取りはずして軽く振ったあと、タンクにもう一度取り付けてください。
  いずれも改善しない場合は、新しいフィルターカートリッジへ交換してください。

長期間使用しない場合

- 「お手入れのしかた」⇒p.23 にしたがってお手入れをしたあと、フィルターカートリッジを取りはずし、水洗いした部品すべてを十分に乾かしてください。
- お買い上げ時の箱に入れるなど、高温多湿、直射日光を避けてゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- 長期間使用しない場合でも、フィルターカートリッジの性能は劣化していきます。
  保管の際は、使用中のフィルターカートリッジを廃棄し、再使用時に新しいフィルターカートリッジをご使用ください。

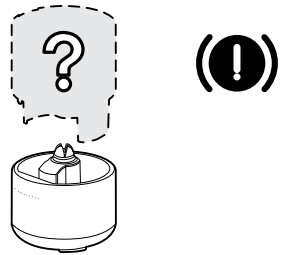


十分に乾燥させないまま収納しないでください。カビの発生や悪臭の原因になります。

安全機能について

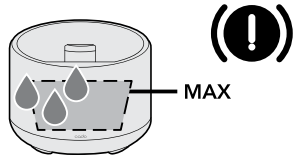
タンク検出

タンクを取り付けずに動作を開始した場合や、運転中にタンクが取りはずされた場合、運転が停止し、すべての操作パネルインジケーターが点滅、警告音が5回鳴ります。



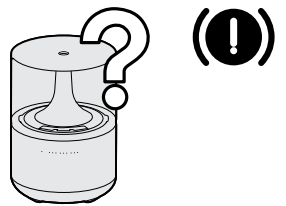
異常水位検出

水槽部の水が異常水位をこえた場合、運転が停止し、すべての操作パネルインジケーターが点滅、(タンク下部インジケーターは白色に点滅)警告音が連続して鳴り続けます。
運転を停止し、水槽部の水を減らしてください。



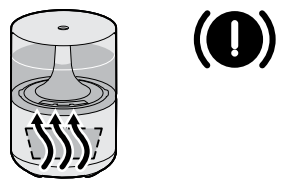
本体動作異常検出

本体内部でファンの回転異常やセンサーの異常などを検出すると運転が停止し、一部の操作パネルインジケーターが点滅、警告音が5回鳴ります。
「故障かな？」⇒p.38 をご参照ください。



加熱運転異常検出

加熱運転中に水温やヒーター温度に異常を検出した場合は、加熱運転を中止します。



故障かな？

症状	確認事項	対処
電源が入らない	電源コードが本体および コンセントに差し込まれて いますか？	電源コードを本体およびコンセ ントにしっかりと差し込んでく ださい。
タンク下部インジケー ターが赤色に点滅する	タンクに水が入っていますか？	タンクに水を補給してくだ さい。
タンクに水が入っているの に、タンク下部インジケー ターが赤色に点滅する	本体の水槽部に水がない状態か ら開始していませんか？	加湿運転が可能な水位になるま でお待ちください。 タンクを満水にするとより早く 運転を開始します。
電源ボタンを押しても 加湿しない	タンクの水が少ない状態で 運転を開始していませんか？ 精製水や蒸留水を使用していま せんか？	タンクの水量が少ない場合は水 を補給してください。 水位検出が正常にできないため ご使用になれません。
警告音が5回鳴り、 すべての操作パネル インジケーターが点滅 する	タンクが正しくセットされてい ますか？	タンクが正しくセットされてい ない場合は、正しくセットして ください。

症状	確認事項	対処
警告音が鳴り続け、すべての操作パネルインジケーターが点滅する (タンク下部インジケーターも白色に点滅)	水槽部が異常水位をこえたか、ファン吹出口から本体内部に水が入った可能性があります。	運転を停止し、電源プラグをコンセントからはずした上で水槽部の水を捨ててください。ファン吹出口に水が入った場合は、本体を十分に乾燥させてから運転を再開してください。
	フィルターカートリッジは正しく取り付けられていますか? フィルターカートリッジから水漏れしていませんか?	「本体の組み立て」⇒p.11 にしたがい、正しくフィルターカートリッジを取り付け直してください。
	フロートは正しく取り付けられていますか?	「フロートの着脱方法」⇒p.32 にしたがい、正しくフロートを取り付けてください。
警告音が5回鳴り、操作パネルインジケーターの一部が点滅する (例:オート/ナイト/急速インジケーターの3つが同時に点滅)	自己診断機能でエラー検出しています。どのインジケーターが点滅しているかご確認ください。	サポートセンターにご連絡の際は操作パネルインジケーターのどの部分が点滅しているかお伝えください。
加湿量が多い タンク蓋や周囲が濡れる	設置場所の温度が高すぎ(低すぎ)ませんか?	気温や湿度、水温によって加湿量が変動することがありますが、故障ではありません。 加湿量が多すぎる場合は間欠モードなどをご使用ください。

症状	確認事項	対処
加湿量が少ない	水槽部の水位が高くなりすぎていませんか？	水槽部の水をすべて捨て、水の入ったタンクを再装着してお試しください。
	オートモードやナイトモードで運転していませんか？	湿度が高い場合は加湿量が少なくなるように自動制御します。
	設置場所の温度が高すぎ(低すぎ)ませんか？	水温によって加湿量が変動することがありますが、故障ではありません。
	霧化ユニットが汚れていませんか？	「お手入れのしかた」⇒p.23 にしたがって霧化ユニットのお手入れをしてください。
	フィルターカートリッジを交換した直後ですか？	フィルターカートリッジ交換直後は加湿量が少なくなることがあります。時間をおくことで正常に戻ります。
本体のニオイが気になる	タンクに水を入れてから長期間経過していませんか?	「お手入れのしかた」⇒p.23 にしたがって、十分に清掃を行ってください。お手入れをしても改善しない場合は新しいフィルターカートリッジに交換して改善しないかお試しください。
	本体やタンク、フィルターカートリッジが汚れていませんか?	
水槽部の水道水が茶色くなっている	長期間放置したフィルターカートリッジを使っていませんか？	茶色い水が出なくなるまで水槽内の水を捨てていただくか、新しいフィルターカートリッジをお求めください。

症状	確認事項	対処
本体の底部から水漏れする 警告音が連続して鳴り続け、すべての操作パネルインジケーターが点滅する。また、タンク下部インジケーターが白色で点滅する(異常水位検出)	お手入れ時にファン吹出口に誤って水が入りませんでしたか?	すぐに電源プラグをはずし水槽内の水を捨ててください。 その後、十分に乾燥させた上で、再度ご使用ください。
	専用液剤(フォレストウォーター、シトラスウォーター、Purio)を水槽部に入れすぎていませんか?	一度に50mLをこえる専用液剤を水槽部に入れないでください。
	精製水や蒸留水を使用していませんか?	水位検出が正常にできないためご使用になれません。
	動作中にタンクの取り付け・取りはずしをしていませんか?	水槽部の水位が変化し、まれにファン吹出口から水が入ることがあります。取り付け時はゆっくりとタンクを差し込んでください。
	水槽部やタンク、フィルターにひび割れなどが入っていませんか?	本体に損傷が発生した場合はサポートセンターまでお問い合わせください。
照度切替ボタンを押しても明るさが変わらない	イルミネーション機能のグラデーション、ユーザー設定(任意色ゆらぎ)が設定されていませんか?	「イルミネーション機能」 ⇒p.19にしたがって、設定を変更してください。

仕様

STEM 300H

型名	HM-C300H			
電源	AC100 V　50-60 Hz			
適用床面積※1	木造和室：8 m^2（5畳）			
（急速モード）	プレハブ洋室：14 m^2（8畳）			
運転モード	間欠	弱	強	急速（30分間）
消費電力（W）※2	25（176）	14（178）	22（182）	60
加湿量（mL/h）※3	50	100	200※4	300
運転音（dBA）	33※5	24	32	33
外形寸法	直径 約 194 × 高さ 約 275 mm			
質量	約 2.2 kg			
タンク容量	約 2.5 L			
電源コード長	約 1.8 m			
付属品	取扱説明書（保証書）、電源コード、フィルターカートリッジCT-C300H※6			

※1　日本電機工業会規格JEM1426に基づく試験方法により算出。
※2　（　）内は加熱運転中の消費電力。
※3　室温20℃の場合。室内の温度や湿度、水温によって加湿量は変わります。
※4　加熱運転中は水温を上昇させるために加湿量が低下します。
※5　加湿動作中における最大値となります。
※6　寸法　幅 約 146 × 奥行 約 149 × 高さ 約 43 mm（最大突起含まず）

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

製品に関する最新情報
使いかた･お手入れ･修理に関するご相談は

カドーサポートサイト

https://cado.com/jp/support/



お電話での対応をご希望のお客様は

カドーサポートセンター

0120-707-212

通話料無料　受付時間 9:00 ～ 17:00
土・日・祝、弊社休業日を除く

本製品は国内専用です。電源や法規制の異なる海外では使用できません。
国外に持ちだされた製品は、保証期間内であっても修理サービスの適用外です。
This product is for domestic use only and cannot be used in any other country with different voltages, frequencies, laws and regulations.
The warranty is only valid in the country the product was purchased and the product brought outside the country is not eligible for warranty repair services.

株式会社カドー

〒108-0071　東京都港区白金台4-2-11

保証書

cado

保証期間	お買い上げ日から 1 年
型名	HM-C300H
お買い上げ日	
販売店	

VOID
無効

お客様情報	
お名前	電話番号
ご住所	

使い方・お手入れ・修理に関するご相談は、カドーサポートセンターにお問い合わせください。

カドーサポートセンター（通話料無料） **0120-707-212**

受付時間 9:00 ～17:00 (土・日・祝、弊社休業日を除く)

株式会社 カドー　〒108-0071 東京都港区白金台 4-2-11

保証内容

1 本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容に沿った正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容に沿って無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

2 お買い上げ日から保証期間中に故障が発生し修理を受ける場合には、本書と製品をご用意のうえ、お買い上げの販売店またはカドーサポートセンターにご依頼ください。

3 保証期間内でも次の場合には、有料修理となります。

（1）本書のご提示が無い場合。
（2）本書にお買い上げ年月日、お名前、販売店名の記入が無い場合、あるいはレシート等お買い上げ日や販売店名がわかる証明書が無い場合。
（3）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
（4）お買い上げ後の落下、運送等による故障および損傷。
（5）火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、公害、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
（6）お買い上げ後の据付、移動などによる故障および損傷。
製品の機能に影響しない損傷（かすり傷やへこみ等を含みます）。
（7）本書の字句が書き換えられている場合。
（8）電池、フィルター等の消耗品の交換。
（9）シリアル番号が確認できない場合。

4 修理に際して、再生部品や代替部品を使用する場合があります。
また修理により交換した部品は弊社が任意に回収し、適切に処理、処分させていただきます。

5 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

6 この保証書は再発行いたしません。紛失なさらないように大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

cado Co., Ltd. | Tokyo | cado.com

JA-00116-0101